

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビー本厚木教室		
○保護者評価実施期間	2024年7月25日		2024年8月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 43	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	2024年 7月 25日		2024年 8月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 8月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	目的別に集団プログラムを作りニーズに沿った小集団支援を行います。	ニーズごとに集団プログラムを作り、ご利用者様は目的に合った枠を選んで来ていただくことができます。集団プログラムは1か月固定で行うので、継続して行うことで達成する課題にも取り組むことができます。	毎月のプログラムを考える際には、それぞれのお子様たちの達成度や課題に注目して、今必要なことや目標を達成するために経験を積み重ねることを支援に取り入れていきます。
2	どの職員でも親しみやすく話しやすい環境を継続していきます。	普段の支援のフィードバック時に困りごとなどの相談にもなっておりますが、お時間が足りない方には別途面談の時間を作りお話を聞かせていただき、保護者様に寄り添い考えたお子様への対応の仕方など提案できるようにしています。	各職員が研修などでより専門的な知識を高め、支援に活かしたり、困りごとに対して的確なアドバイスができるよう努めて参ります。
3	定期的を開催するイベントの中で、楽しみながら療育的効果が得られるものを提供していきます。	普段の支援では経験できないような体験を、イベントを通じて経験していただけるようこれからも様々な内容を考えていきます。また、楽しみながらも療育的効果がある課題を提供しています。	お子様のニーズに合わせてさまざまな療育効果のある課題を取り入れていきます。また、ご利用者様だけでなく保護者の方やごきょうだいの方にも参加したり、交流の場となる機会を提案していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室が狭いため、運動課題やイベント内容が限られることがあります。	狭いお部屋の中では大きな器具を使つての運動が難しかったり、怪我なく安全に活動するのにとても気を付けなければなりません。イベントでは部屋の規模によって参加人数が限られたり、活動内容にも制限が出ることも考えられます。	限られた空間で取り組める運動課題を、作業療法士のアイデアなども取り入れながら工夫して行っています。イベントでは参加人数によってはお部屋がいっぱいにならないよう、タイムスケジュールで混雑しないようご案内したり、適切にお部屋の振り分けをしていくことでスムーズに参加できるように工夫していきます。
2	オンラインを取り入れるなど、新しいことを始めるのに慎重なこともあります。	支援の仕方や家族支援のご相談なども、対面だけでなくオンラインも可能になりました。提示しているものの機械操作に不安を感じる方も多く、対面をご希望の方がほとんどです。今後災害時など来所が難しかった場合の対応として、オンラインを普及していけるようにしていきたいです。	保護者様には教室に集まっていた上でオンライン操作は職員が行い、一緒に画面を見て内容を共有したあと対面で質疑応答やご相談を受け、教室職員とお話ししていくなど、この教室のご利用者様に合ったオンラインの活用方を考えていきます。
3	シフト制のため、職員間の情報共有を密にする必要があります。	働く時間や日数がそれぞれ違うため、情報共有をより意識して行っていく必要があります。お子様が今どのような状況か、どのように支援していくか、話し合ったことを職員間で最新の情報に更新していけるよう連絡体制を密にしています。	お子様が今どのような状況か、どのように支援していくか話し合ったことを職員全員が把握して支援を行っています。日々確認する時間を設けて情報を更新していけるよう努めていきます。どの職員も把握していることで、誰にでも相談できる環境を作っていきます。